

## 26 年度後期「継続講座～スクールカウンセリング基礎研修(全 8 回)」

企画協力：一般社団法人東京臨床心理士会（学校臨床心理士専門委員会アドバイザーチーム）

## 1. 目的

実践的な研修を目的とし、各回に原則として、自分の現場と結びつけたワークを入れながら学ぶ。これまで、本で読んだ知識、研修会で聞いてきた講義が現場の実践に結びつくことを目指し、スクールカウンセリング活動の基礎的な内容を含む OJT を提供する。

経験の浅い SC を対象として、SC の心構え、基礎的知識、SC としての立居振舞い方などについて、体系的で継続した研修を実施し、今後、SC として自信を持って学校で活動できるようになることを目的とする。

2. 日時 平成 26 年 9 月～27 年 2 月の該当土曜日（下表参照）18:00～20:30

3. 会場（財）日本心理研修センター研修室（裏面地図参照）

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8-201

4. 参加費 25,000 円（8 回分一括）

5. 募集対象・人数 現役 SC および SC を希望する臨床心理士 定員 50 名 ※当会会員優先

## 6. 各回の構成/テーマ等

回	日時	テーマ	講師
1	9/6 (土)	スクールカウンセリング概論 SC はどうあるべきか、何を期待されているか	村瀬 嘉代子
2	9/27 (土)	学校組織の理解と SC 活動拠点の築き方 教育に関わる法律、校務分掌、SC の校内の位置づけ、守秘義務 学校に受け入れられるための態度・姿勢 学校臨床の特徴、職域と SC へのニーズの把握、広報活動、相談室の運営方法 教職員や区市 SC とのつながり方、SC のコミュニケーションのあり方	杉原 紗千子 奥村 八重子 中島 恵
3	10/25 (土)	問題解決の手順 情報収集→アセスメント→コンサルテーション・対応、という流れの理解	植山 起佐子 佐竹 由利子
4	11/29 (土)	情報収集の仕方 行動観察—何を見るか、どこを見るか 情報収集—いつ、どこで、誰に、何を聴くか、何のための質問か	上野 綾子 森田 規子
5	12/20 (土)	アセスメントの仕方 1（個人） 不登校、発達障害などのケースを通じて情報の意味づけを行い、仮説を立てる	横山 典子 竹林 一恵
6	1/17 (土)	アセスメントの仕方 2（学校組織） 荒れるクラスなどを想定し、介入のための計画を立てる—いつ、どこで、誰が、何をするか—計画の見直しと修正	鈴木 眞理 吉田 章子
7	1/31 (土)	コンサルテーションの仕方 コンサルテーションとは何をすることか、個人と学校組織のアセスメントを組み合わせる、ミディエーション、	柴田 恵津子 奥村 八重子
8	2/14 (土)	対応法（校内/校外連携・支援チームの築き方、危機のとき） 医療・福祉・教育の各領域の専門性と役割分担、チームのマネジメント 学校危機対応への心構え	宮田 葉子 多賀谷 篤子 石川 悦子

※テキスト：村瀬嘉代子監修「学校が求めるスクールカウンセラー」 遠見書房 2013.8

7. 研修ポイント 8 回のうち 6 回以上出席者に「継続研修」のポイントを申請する。

8. 申込方法：①および②をお願いします。

①週日 10:00～17:00 に電話で空席の有無をご確認の上、予約してください。TEL：03-3817-6801 事務局

②郵便局の振り込み用紙に、以下の各項目を全て記載して、参加費（25,000 円）を振り込んでください。

（なお、納入された参加費は返還いたしませんのでご了承ください。）

○特別講座「スクールカウンセリング基礎研修」

○ご氏名・臨床心理士番号・連絡先電話番号・ご所属

○口座番号 00110-7-413679

○口座名称 一般社団法人日本臨床心理士会

# 一般財団法人 日本心理研修センター地図

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8-201

